

三本松緑地

～地域の歴史を今に伝える～

多摩ニュータウンの団地の中にある細長い緑地。園内には雑木林の樹木が多く生えています。

東由木地区公園



81

このシリーズでは、ひとまちみどり由木が管理をしている八王子市東由木地区 81 公園の魅力をご紹介します。



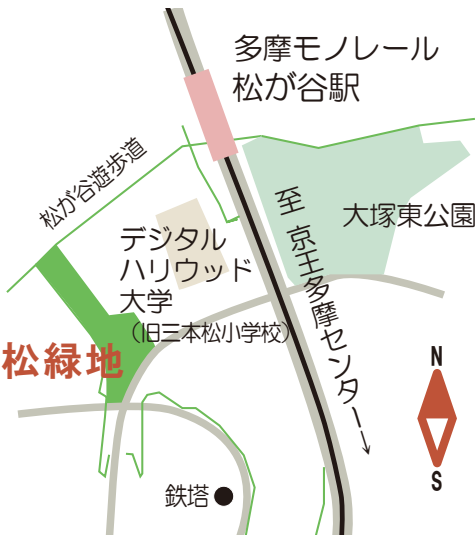
三本松跡地の鉄塔

八王子市松が谷185
トイレ・・・なし
遊具・・・なし
駐車場・・・なし



名前となっている「三本松」は、緑地から 200m ほど南側の尾根に存在していました。開発の際に失われ、現在は送電線の鉄塔が建っています。この場所は大塚村と多摩市側の落合村との境界であり、目印として三本の松が植えられていたそうです。

「この松には葉っぱが 3 枚出る（通常は 2 枚）ことから三本松と呼んでいた」という話や、「周囲にキツネが棲んでいて化かされる」、「ナベツルが飛んできた」といった伝承も残されています。また、1956 年頃に作られた「多摩村音頭」の中でも歌詞に歌われており、地域の人々から親しまれていたことが分かります。



林内にはタマノホシザクラやウメガサソウが生育し、秋には紅葉もきれいです。イカルやアオゲラなどの野鳥やタヌキも、この緑地で暮らしています。

